

近代仙台研究会

仙臺から
仙台を考える

第3回発表会

のお知らせ



近代の仙台を中心とした建築、工芸、歴史、文化に対する理解と研鑽を深める研究会を平成28年1月に立ち上げました。この度第3回目の「発表会」を下記のように開催致します。

戦前、戦後の仙台を知っている先輩方や、興味をもって研究されている方々の成果の発表を通し、多世代との交流を図りながら未来へと継承していきたいと思えます。

興味のある方々のご参加をお願い致します。

会長 庄子晃子

◀ 昭和の仙台市役所と宮城県庁 仙台市役所は、昭和4年(1929)1月に完成、近代ルネサンス風づくりの鉄筋コンクリート3階建。一方宮城県庁は昭和6年(1931)9月に竣工、左右対称のシルエットで、レンガ造り風の色と質感が特徴でした。どちらもふるさと仙台の昭和を象徴するシンボルとして、当時に生きた人々に記憶されています。 小野寺純一・画

発表テーマ

テーマは仮題 | 1人8分以内で14人が発表

開会挨拶 13:00~

第1部 生活文化と記憶 13:10~14:06

佐々木 伸 昭和10年の城下町仙台—消えた御藩をどりのゆくえ—

庄子 晃子 仙台市西公園のこけし塔について

濱田 淑子 宮城県民芸協会50年の歩みと50周年記念事業紹介

大極裕介・大沼正寛 昭和の石巻と仙台・旧観慶丸商店のタイル調査をもとに

ディスカッション

第2部 戦前・戦後の動き 14:15~15:14

石澤 友隆 仙台にロシア軍捕虜2100人

伊藤 正浩 仙台を初めて野球日本一にした大投手—新谷昂吉—

平田るみ子 戦前の街の賑わい『仙台會館』

菅野 恭彦 戦時下の女学校—(宮城)二高女の昭和15年度学校行事一覧から—

加藤 幸子 ユネスコ活動のその後

ディスカッション

第3部 都市造営のあゆみ 15:25~16:14

庄子 喜隆 X橋追想

崎山 俊雄 東北学院所蔵の建築資料について

斎藤 広通 旧吉岡尋常小学校講堂の意匠をめぐって

吉村 典子 松島パークホテルの源流をめぐって：イギリスのバタフライ住宅

川合啓太・大沼正寛 戦後和風住宅・道場小路M邸からオジーノカーヤへ

ディスカッション

開会挨拶・諸連絡 16:15~

日時 平成30年(2018)2月24日(土)

午後1:00~4:30頃 (0:30開場)

場所 東北工業大学一番町ロビー

2Fホール(青葉区一番町1-3-1)



資料代 500円(発表内容の報告書)

参加 どなたでも聴講できます。申込み不要

●●●● 近代仙台研究会 ●●●●

問合せ Tel.090-4633-9570 斎藤 koukogen@ab.auone-net.jp | HP <http://kindaisendai.com/>